

tsumugu (つむぐ) ~アーランドグループ労働組合ニュース 2018年7月号~

毎日頑張っている組合員の皆さんにもっと組合のことを知ってもらいたい。自分のこと、大切な仲間のこと、守るには知るべき大切なことがあります。「知る」参加、「いう」参加、「実践する」参加、「役割を持つ」参加。イキイキと働ける職場を一緒に作り上げていきましょう！

みなさんのご協力で

悪質クレーム対策署名 1077筆！

4月からの共済説明会や組合活動でご協力いただいた「悪質クレーム(迷惑行為)の抑止・撲滅に向けて必要な対策を講じることを求める要請署名」が6月末時点で1077筆となりました！

全国で100万筆を目標に掲げおり、現在上部団体UAゼンセンで集計中です。集まった署名数や内閣総理大臣に提出する様子などは随時ゼンセン新聞などにも掲載される予定です。ご協力ありがとうございました！



悪質クレーム対策(厚生労働省)への要請活動

サービスを提供する側と受ける側が共に尊重される社会をめざして

2017年11月16日、「悪質クレーム対策」を進めていくために、組合員の皆さんからいただいた約5万件以上のアンケート調査結果と約250組合の取り組み決議署名を大きな力として、厚生労働省に対する要請活動を行いました。

- 要請では、アンケート結果をもとに、
- ①「7割超」がハラスメントを経験し、そのうち「約9割」がストレスを感じていること！
 - ②「全体の約5割」が近年ハラスメント行為の増加を感じていること！
 - ③対応策として、社会全体での啓発活動や企業の対策整備を求めていること！

などの切実な声を訴え、各種施策を講じることを要請しました。11月16日の要請当日は、マスコミ各社が駆けつけ、NHKのお昼のニュースでも要請活動の内容がタイムリーに流れ、社会の関心も高まりつつあります。

百貨店スーパー従業員 労組調べ

客の迷惑行為7割経験

11月17日 日本経済新聞朝刊「客の迷惑行為7割経験」より記事転用

悪質クレームに関する法律をつくるには自分たちで議員をつくるのが大切です。

アーランドグループ労働組合は、流通出身の田村まみを応援しています。



イオン出身の田村まみ



2月以降、「悪質クレーム対策」に関する署名活動を展開し、改めて国への要請行動につなげていきます。

労働組合が取り組む政治活動

投票はみなさんの大切な権利です。棄権せず、期日前投票を利用して身近な選挙から投票に行きましょう！税金、年金、法制度や暮らしの中での不満は、国会や地方議会の場で解決するしかありません。このような問題を解決するためには、「働く仲間の代表を政治の場に送り出す」ことが必要です。労働組合は日頃から政治活動に取り組んでいます。



イキイキ働くために！



発行責任者: 安達
編集責任者: 加藤
☎ 0256-68-6810

支部長より

支部 組合員の皆さんに一言！



アーランドグループ労働組合は
かわいたかの&田村まみを応援します